

別添 5

2050 年の未来予想図ワークショップ
成果物集

2050年の未来予想図
ワークショップ

成果物集



2050年の 未来予想図

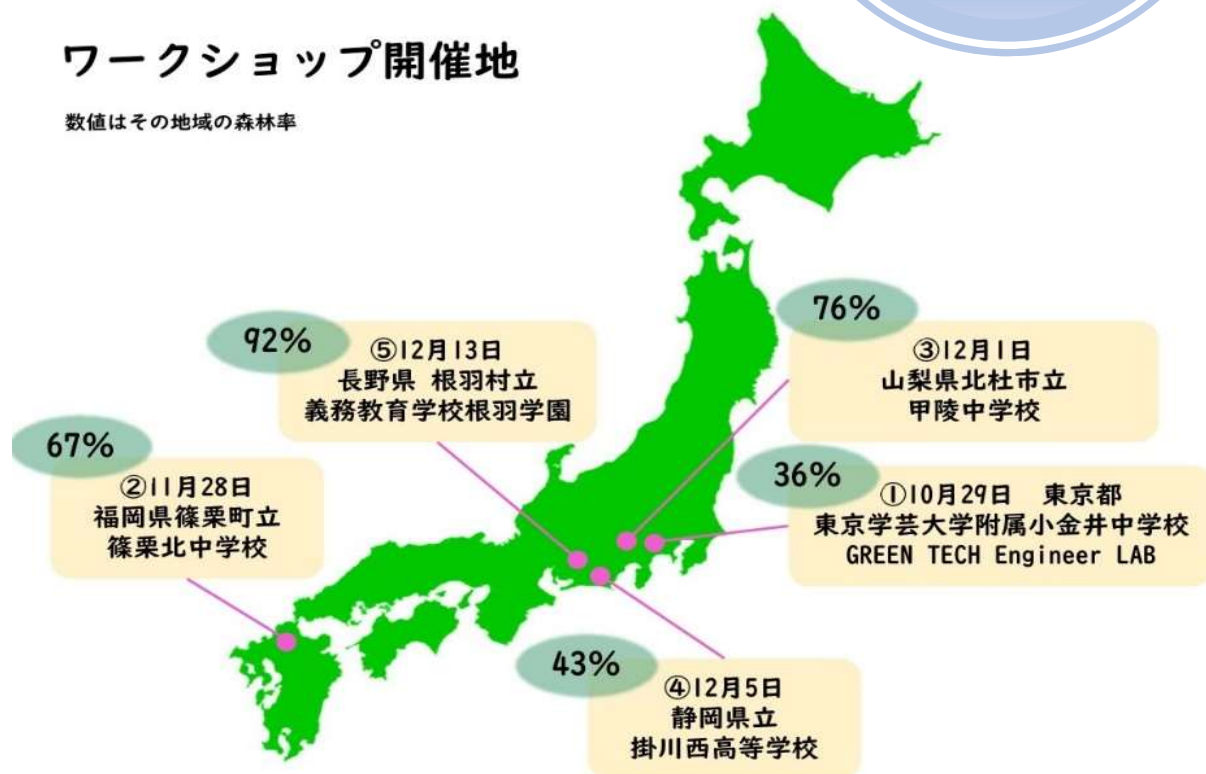
「未来予想図」は、SDGsの趣旨を参考に、地域、日本、世界、地球が2050年にどのようなになっているか、その中で、将来の自分たちと森や都市の関係をどうしていきたいか、地域はようになってほしいかを描くものです。

バトンを受け取った地域の学生は、「未来予想図」を描きます。自分たちのアイデアを他の地域の学生にシェアして、バトンをつなぎます。30年後の森の未来を一緒に作っていく仲間のアイデアを、見てみよう。

フォレストバトン
とは…

ワークショップ開催地

数値はその地域の森林率



企画によせて

林野庁「令和2年度つたえる、感じる、つながる、森林×SDGsプロジェクト事業」では、一人ひとりが暮らし中で森や木との関わりが持てたら、もっと幸せな未来を作っていけるのではないかと、との思いから、様々な企業や個人と、森や木との関わり方を考えています。

中でも、これからの未来を作っていく学生達に、未来の森林との関わりに関するアイデアをもらい、全国各地の学生達で共有してもらうことで、これまで大人が考えつかなかったような新しいアイデアが生まれるのではないかと期待から、未来予想図ワークショップを企画しました。

全国の学生達が、今から将来にわたり、それぞれの立場・場所で、森林との関わりを意識したり、幸せな未来に向けたアクションを起こしてくれることを願っています。

そして、そのアイデアやアクションが実現するような仕組みを考えていきたいと思っています。



東京都 東京学芸大学附属小金井中学校 GREEN TECH Engineer LAB

2020年10月29日（木）

GREEN TECH Engineer LABは、森林環境教育の発展を目指して、大学や企業、行政などと連携して様々な森林体験活動にチャレンジするラボです。活動内容は以下に掲載されています。<https://www.facebook.com/GREENTECHENGINEERLAB/>

東京都の森林率はほかの開催場所に比べると低い方ですが、ワークショップに参加した1年生20名は、週末にNPO法人緑のダム北相模と協働で、神奈川県相模湖畔の森などで測量や間伐などの森林整備ボランティアを行っています。さらに、間伐材を用いてまきやベンチ、棚、おもちゃなどを作る木工にも取り組んでいます。

参加者はワークショップに先立ち、各自の森林体験を振り返り、気になる森やその理由、森の印象や感じたことを表現する課題に取り組みました。

協力：GREEN TECH Engineer LAB顧問教員、NPO法人緑のダム北相模



森の印象・感じたこと

各自の森林体験を振り返り、五感を思い出しながら、森に対する印象・感想を挙げました。

①見たこと、②聞いたこと、③匂い、④触ったもの、⑤食べたもの

“季節によって姿を変えるところがいい
(例えば、秋になると森全体カラフルになる)”

“緑が多く目が疲れなかった”

“森の中では、木だけではなく、虫や動物も潜んでいる証拠を見られて楽しかった。”



“木を伐ると、ズドーンという大きな音がする。
ただ大きいというより壮大な音がする。”

“大きい木を皆で切った時に鳴る、
木が落ちる音を聞いた時に達成感でとてもドキドキした”

“森で大きな木を切ったとき、倒れた音が森全体に響いて感動。”

“伐った木が倒れる音が気持ちいい。”

“鳥や虫の声を聞くと気分が落ち着く。”

“静かで時々鳥が鳴く声が聞こえる。”

“都会ではなかなか聞けない鳥の音が聞こえた。”

“様々な種類の鳥の鳴き声がたくさんしてきれいだった。”

“森で作業しているときに聞こえる音は少しうるさくても都会の音とは違い、鬱陶しいとは感じなかった。”

“森に行くと良い音がたくさんする。沢の音、鳥の音。”



“雨が上がった後の木の匂いが、
じめっとしているが、スツキリと感じる “

“森の中に入ると、生えている草の独特の匂いがした。”

“木の匂いが強くご飯のにおいがかすむほどだった。”

“森は匂いが所どころで全く違う。
草や木の種類でも匂いは変わる。とても良い匂い。”

“私の住んでるところは澄んだ空気と畑の匂いがするけど、
森は木の匂い、葉の匂い、土や虫の匂いが
季節や天気によって違って面白い”

森の印象・感じたこと

“川に入ったとき、プールのとは違う冷たさを感じた。”

“山頂は、空気が綺麗でとてもすがすがしかった。
登って疲れた分、より気持ち良く感じた。”

“木を伐採した後、空を見上げるとさっきまで木によって見えていなかった空が、青くとてもきれいだった。”

“湿っていて虫がそれほど多くない。”

“沢での活動の際、最初はとても冷たくて動くのも滑りそう
でひんやりしていたが、後になると慣れて動きやすくなった”

“外がどんなに暑くても森の中は涼しくて気持ちがいい”



“黄色い木の実を食べたら、
森（←自然の恵み）!!だと感じた。”

“森で、作業してからご飯を食べると
いつもより美味しく感じる。”

“木を伐ったり、草を刈ったりした後
のご飯はとてもおいしかった。”

“森の澄んだ空気の中でお弁当を食べ
るのが気持ちよかった”。

“森の前半の活動が終わってお弁当を食べると
いつもより幸せな気分になる”



家の周りでは見たことのないような生き物
(ユウレイグモなど)がたくさんいて面白かった。

“竹を伐ったとき、竹から水が出てきたことにと
ても驚いた。私達が伐る直前まで生きていたと
思うと少し気が重くなった。”

“先生から森の話を聞いて、自分もまだ知らないこ
とがたくさんあって面白かった。”

“森にはたくさん昆虫もいて、生物の多様性を実
感できる。”



“森の少し荒れているところに入ると
服に小さな木の実がたくさん
付いていた。”

“森で木を伐る作業や、食事をしている
時などに虫をいちいち気にしてし
まう。”

“服に付いたひつつき虫を剥がす
のが面倒くさかった。”

森の印象・感じたこと



“自然が相手なので、台風や大雨の被害が残っていて痛ましい時もある。”

“長い間作業をすると夢中になって色んなことを忘れられる。”

“山の景色を見て、
包まれているように感じた。”

“作業は、大変だけど整備したところとしてないところで見比べたときの**達成感**が大きい。”

“たくさんの人と協力して、
あっという間に森の木が間伐されたとき、
達成感がある。”

“友達と工夫しながら切った木を**運ぶ**のが楽しい。”

“一日森で過ごし、家に帰ると体がすごく疲れている。”



“とても涼しく気分がすっきりする。”

“**雑草を切る**のが快感だった”

“普段あまり行かないので**空気が気持ちよかった**”

“森の空気は新鮮で訪れるたびに清々しくなる。”

“森で作業をすると、**非日常を味わえて、面白い。**”

“**自分の好きなこと**(木を伐ることとか)ができて楽しい”

“森での作業は**何が起こるかわからないので面白い。**”

“転んだり段差を上ったりしながら
流れの速い沢を上ることが楽しかった。”



子ども～中高生～大人それぞれの森の関わり方ローテーション

ビジョン

森に多様な生物がすみ、人間が触れ合いつつ、森によって、人間が生物を獲り続けて生物を絶滅させるのを防ぎ、森が水を貯え、土砂崩れを防ぎ、人間の生活を守る。
自然と人間の共存と繁栄を目指す。

森と私

森＝

- ・自然と人間の仲介者
- ・生物の源
- ・絶滅を防ぐ盾
- ・人間の生活を守る盾
- ・水・食料の宝庫



子ども

森が好き!!
森が楽しい!!
森へ行って木で遊ぶ
という印象を持たせる。 木のおもちゃで遊ぶ。

中高生

木を守りたい
という印象を持たせる。 木を伐ってみる
森の現状を学ぶ。

大人

- ① 森を守る活動をする。
- ② 子ども・中高生が森を楽しむ企画を考える。

子ども

このローテーションを作っていく!!

<アクション>

- ・ 森の材木だけでなく、材木によって育まれているさらに小さい命にも目を向ける。
- ・ 「NPO法人緑のダム北相模」※のように、一般人にもわかりやすく、簡単な活動の機会を与える。 ※ 生徒たちが参加する森林整備ボランティア団体。
- ・ 林業を身近にすることで、関心を持たせる。
→ 関心を持たせ支持を集める。
→ 子供世代にもウケが良くなり、担い手が増える。
- ・ 私たち一人一人はごくわずかしが将来の林業に貢献できないが、今回のワークショップのように新しい将来のプランを考えていくこともアクションの一例。

森を身近に～大人のツリーハウス



都市に住む私たちと、森林が身近にある地域に住む生徒とは、森に対する考え方や価値が違うと思う。いろいろな観点からアイデアを出せるとよい。

アイデア

人が心地よくいられるような場所にする。
木の上に家があったり、お店や遊び場があったら、人も集まり、環境にもよさそう!!

大人のツリーハウス
テレワークに使えるWi-Fi付き!!
幹の中にエレベーター!!
各地域の木の個性を生かしたツリーハウス

小さな子どもでも、誰でもいつでも公園のように遊びに来られる森

木と木を渡って遊べる遊具

子どもに植林を体験させる。
子どもが大人になった時に木を伐り、
また自分の子どもにも植林を体験させる。

- ・ 四季を感じることができる。
- ・ 動植物とのふれあい
- ・ 自給自足

アクション

- ・ ツリーハウスを造れるような大きな木を育てるために、間伐や枝打ちなど森の整備を続ける。
- ・ 森や木についてもっと知ってもらうために、木を活用した物を作って木の価値を示す。
- ・ 木を使うだけでなく植林もする。
- ・ みんなが森に来て、森が身近になるようなアイデアを考える。

森の上の家／林業の自動化

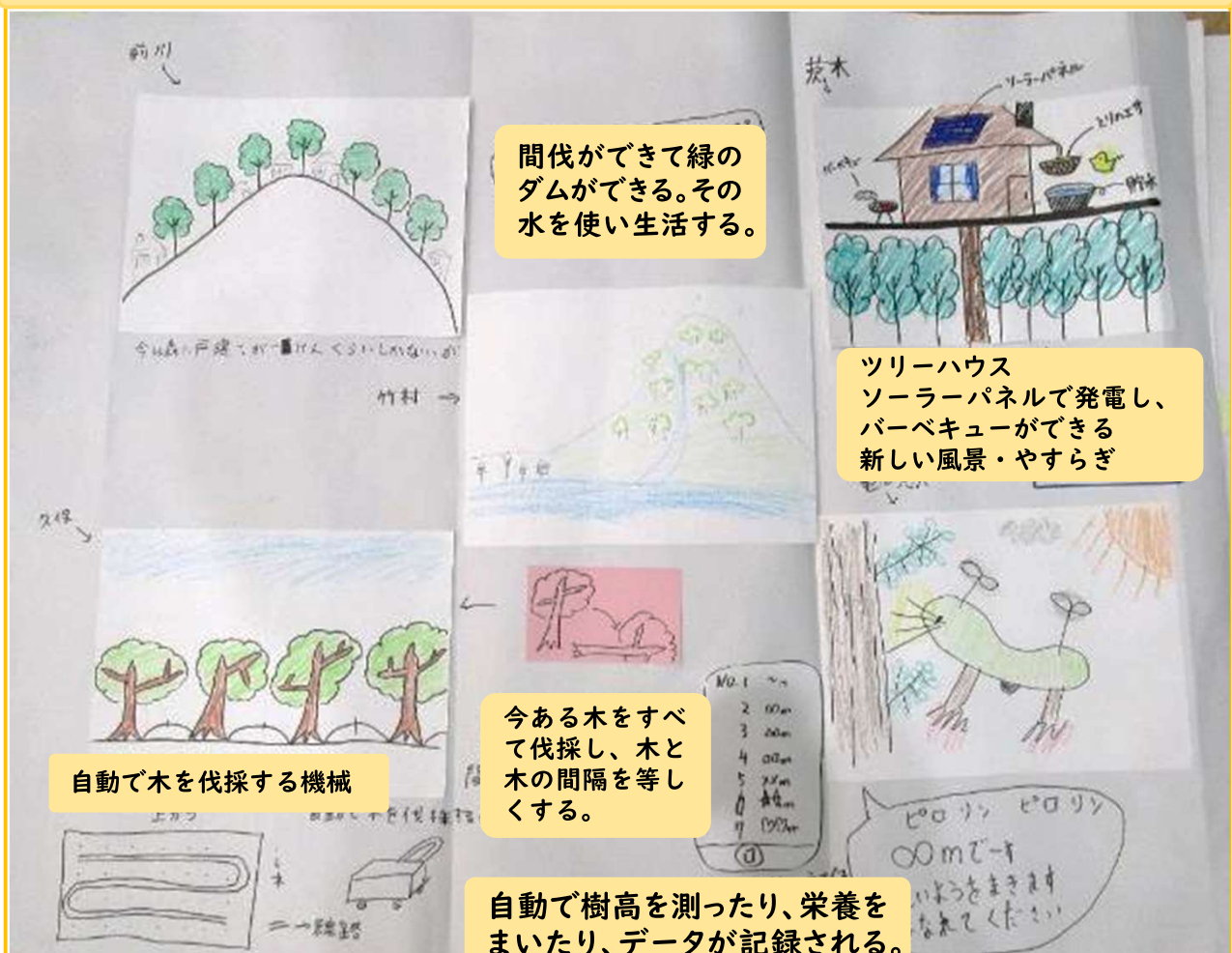
あなたにとって、
森とは何ですか？



私にとって森とは…

- ・いつも新しいところ。常に挑戦し続ける場所。
- ・生きるためにかけがえのない、命が繋がっていく場所。
- ・森は、私たちの命を背負っている。
- ・心休まる場所。騒音に囲まれた東京のストレスから解放される場所。
- ・心を落ち着かせる場所。
- ・大事なところ。生活に欠かせないもの。緑のダムがあることで生活できる。

アイデア



動植物を守るために森林整備。そのために森の経済を回す。

森の現状

- ・ 放置された人工林のせいで、他の動植物に栄養がいきわたらない。
- ・ 森を伐ってもお金にならないので、森を捨てる人も多くみられる。
- ・ 私たちも普段、森を伐っているが、お金をもらっているわけではない。

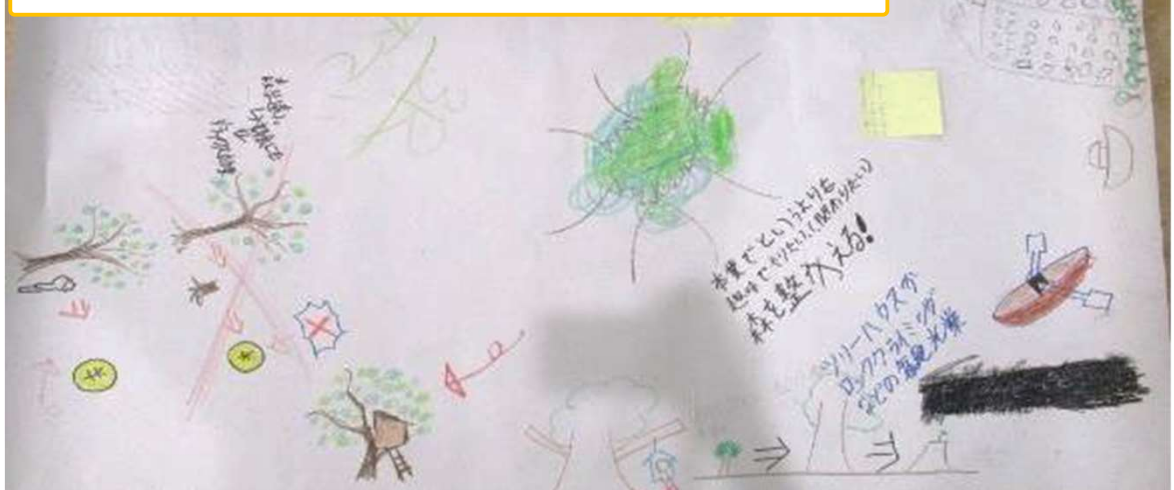
ビジョン：植物や動物を保護するために、森林整備。そのために、森の経済を回す。

木を伐る目的ではなく、観光の目的で発展させる。

- ・ ツリーハウスかロッククライミングなどの観光業。
- ・ 森のことを知らない人にガイドをし、ガイド料や入場料を取る。

木に親しみをもってもらうために、木の価値を示す。

- ・ 伐った木は捨てない。3R（編集者注記：リデュース、リユース、リサイクル）。
- ・ スマホケースなど、色々なものを間伐材で作る。



都会にもリラックス効果

- ・ 都会などに鳥の入れる小屋を作る。
- ・ 目の不自由な方のために…
森の香りのする香水で、森を感じてもらう。
- ・ 足の不自由な方のために…
山の木を街の近くに運び、森を感じてもらう。

地球温暖化・海面上昇対策

- ・ ボートを作る。

アクション

- ・ 森林に関する知識・理解を深める。
- ・ 本業でというよりも趣味で関わりたい。



アイデアを実現するのは、これを見ている人たちでもある。
森林に関する知識・理解を深めていこう。



ささぐり

福岡県 篠栗町立篠栗北中学校

2020年11月28日（土）

篠栗町は、空海（弘法大師）ゆかりの霊場としての歴史がある町です。
篠栗町の森には、修行を行う山伏（やまぶし）が植樹した樹木の形跡も残るほか、森の奥深くには樹齢2000年ともいわれる※「大和の大杉」が見られるなど、地域の歴史と縁の深い豊かな森林が残されています。 ※ 樹齢については諸説あります。

現代では町内の森を舞台に、森を楽しみながら心と身体健康増進や病気の予防を図る森林セラピーが行われています。

ワークショップの参加者は、篠栗北中学校の1年生有志19名。森の成り立ちやSDGsとの関連を事前講義で学び、「森の案内人」による森林セラピーを体験した上で、未来予想図を作成しました。

協力：篠栗町立篠栗北中学校、PTA委員会、森の風・篠栗森の案内人、
篠栗町教育委員会、コミュニティスクールディレクター、地域おこし協力隊、
（一社）篠栗町観光協会、株式会社コプラス



若杉山で森林セラピー



尾根からは福岡の街や
博多湾まで見渡せます。

歴史を感じる「大和の大杉」を
前に、メッセージを書きました。

木に抱きついてみる。
意外とあったかい！？



寝っ転がってみる。
ウッドチップが敷いてあ
るから、気持ちいい！



風が木の葉を揺らす音。
凜とした空気。



高齢者も子どもも安心。動物とも共存する森。



森の印象

篠栗町の森の印象は、癒し、樹々の歴史、風の音を感じることができること。

アイデア

安定した足場を作り、車いすや高齢者のためにロープウェイを作る。

実現に向けて

町と話し合い、募金をしたりして、確実に実現させたい。



森は守りつつ、大人から子どもまで楽しめるテーマパークのような場所

森林セラピー基地篠栗は...

- ・ 樹齢2000年※の大和の大杉があり、葉と葉が触れ合う音が聞こえて、とてもリラックスできる。
※ 樹齢については、諸説存在する。
- ・ 森の中で寝ころぶと落ち着く。
- ・ 森の中は迷いやすく危険。でも、88カ所の仏さんたちが守ってくれるから大丈夫！

アイデア

- ・ イベントを開催
- ・ 植林
- ・ 大和の大杉を守る。
- ・ 親子で来れる森
- ・ イベントの費用で公園整備をする。
- ・ 道を整備する。
- ・ 木の遊具を作る。



2050年の未来予想図ワークショップ ～フォレスト・バトン・パス～ 篠栗北中学校

私たちは、篠栗の
自然を大切に守り
ます！

皆さん！
篠栗の森にぜひ
遊びに来てくださ
い！

篠栗北中学校も、
この活動を応援し
ています！



果物狩りや動物とふれあえる公園、案内ロボット

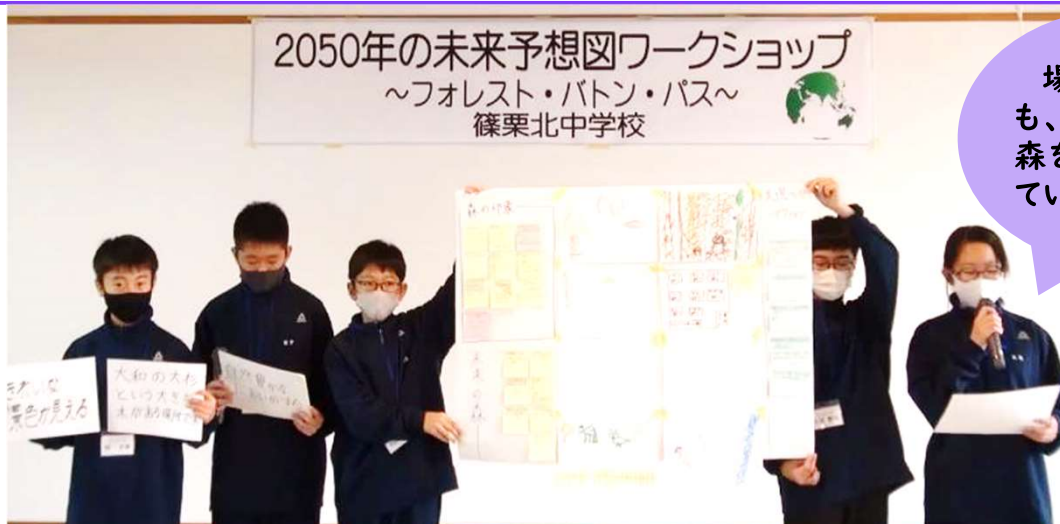
篠栗町の森の魅力・印象

- ・ 綺麗な景色が見える場所。
- ・ 大和の大杉という大きな木がある場所。
- ・ 葉が風に揺れるときの「サワーツ」という音が聞こえる場所。
- ・ リラックスできる場所。
- ・ 自然豊かなにおいがする場所。



2050年の森の未来ビジョン

- ・ 森の木を使った雑貨やコスメを作ったり、案内するロボットや観光施設を作る。
- ・ ドローンが木を伐って、森を管理する。伐った木からコースターや漆塗りのバレッタを作る。
- ・ ヒノキからスモークチップを作って売り、売ったお金で新しい苗木を買い、木が少ない地域に提供する。
- ・ ヒノキ、スギからエッセンシャルオイルを作り、加湿器で使う。保湿剤コスメ。
- ・ 木を丸々お風呂に入れる。
- ・ いろんなところに食べられる果実や山菜を植えて、でっかい果樹園をつくる。
- ・ 山の場所によって、種類が変化する果物狩り農園と、動物ふれあい公園。
- ・ いちご、なし、ぶどう、りんご、もも、柑橘系、キノコ、サツマイモ。
- ・ QRコードから、ネット図鑑に行く。(水族館のシステムから)
- ・ 森の木を使ったカフェや休憩スペースをつくる。木や葉のにおいもいい感じ。ハンモック。
- ・ 森を撮影して、あまり木や林がない場所に提供して、目標にしてもらう。
- ・ VRを利用することで立体音などを表現し、森についてどこでも感じられるようにする。
- ・ 案内人をロボットにして人件費を削減する。
- ・ 昆虫園をつくる。1時間くらいで、昆虫取り放題。
- ・ 動物が安心して過ごせるように、安全な場所をつくる。



場所は違っても、自然豊かな森を一緒に守っていきましょう！

すべての年代が楽しめる森づくり

森の印象

大和の大杉-森の主みたい-真ん中だけまっすぐ分かれている枝-真ん中の枝を守っているように見える-でかい-最年長

鳥のさえずり-鳥がいる-森はきれい

木-林-森-寒い-きれい-すべる-岩がせまい
チップ-歩くとき-心が落ち着く-緑が多い-自然-
葉-ゆれる-森林-こけ-つるつる

静か-鳥-鳴く-飛行機-チップ-カブトムシ
コケ-緑

ヒノキ-針葉樹-レモンみたいなにおい
スギ-冷たい 樹液-色がついていた
風-寒い

木-緑-目がよくなりそう
階段-足痛い

森を歩いて感じたこと

- ・ 足場が悪く、小さな子どもやお年寄りが転んだら危ない。
- ・ 限られた世代の人だけが楽しくても、お年寄りには足が悪かったりすると山に登れず、森の良さを楽しめない。



森のアトラクション@SASAGURI

- ・ 透明なエレベーターで若杉山の頂上に上り、若杉山の頂上から米の山までは、すべり台でつなぐ。
- ・ 空飛ぶ車、バイク
- ・ 頂上に森のカフェをつくる。
- ・ 森のかくれんぼ…危ないところはゴルフネットで囲う。
- ・ 森や山を使ったおばけやしき

<アイデア>

- ・ 今よりも大きくなって、様々な人から知られている。
- ・ いろんなくだものを植えて、とりながら食べながら登る。
- ・ 落ちても大丈夫なもの、トランポリンをつくる。
- ・ 大杉が増える。
- ・ 無駄に木をとらない。
- ・ 今以上にきれいな森
- ・ 森林破壊が完全でない未来
- ・ 世界中の人が森林に興味をもち、ごみなどを捨てないきれいな森林
- ・ いろんな人が楽しく遊んでいる未来
- ・ 自然や生物がしゃべる。
- ・ 寒くなくなってほしい。
- ・ 森のかしきり
- ・ 森がないところに森をもっていく。

2050年の未来予想図ワークショップ
～フォレスト・バトン・パス～
篠栗北中学校





ほくと
山梨県 北杜市立甲陵中学校

2020年12月1日（火）

北杜市は、まわりを山々に囲まれた、美しい自然環境を有する地域です。

首都圏からアクセスしやすいこともあり、市内への移住者も増えています。本事業で実施した「親子で楽しむ森の時間『ワデュケーション』体験モニターツアー」の開催地でもあり、テレワーク拠点としての活用も見込まれます。

北杜市立甲陵中学校の周辺にも豊かな森林があり、教室の窓からはハケ岳が望めます。

北杜市は国蝶であるオオムラサキの日本一の生息地で、生徒は、オオムラサキの有視界調査を行うなど、地域の環境学習に取り組んでいます。

ワークショップの参加者は、北杜市立甲陵中学校の中学1年生全40名。事前学習や森林体験は行わず、総合的な学習の時間2コマを利用してワークショップを実施しました。

協力：北杜市立甲陵中学校



森林をもっと身近に届けよう 5F



Free

森の整備、
交通整理を
して森に来
やすくする。

Fun

森林のつまらない
イメージを消し、
癒しが得られるリ
ラクゼーションの
イメージに

Favorite

都会の人に森林のよさを
知ってもらい森林を観光に
活かす。
森のPRとして森林の日は無
料に。
未利用森林を活用し、森林
アスレチックなどを増やす。
家族で楽しむ。

Forest

植林活動

Fantastic

森林エネルギー、
森に来たら特典
(商品券とか)
がある。商品ブ
ランドを作る。



寂しい森に人が増える使い方

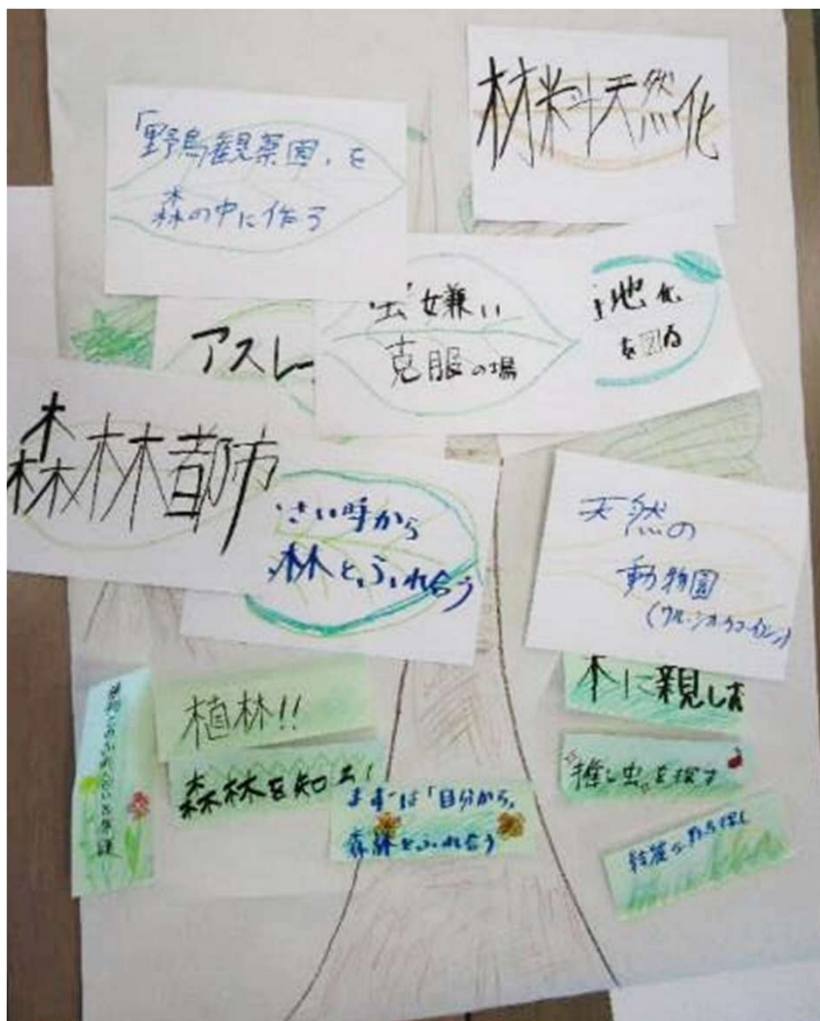


アイデア

- 野鳥観察園を森に作る
- 材料天然化
- 森林都市
- 別荘地化
- アスレチック
- 虫嫌い克服の場

アクション

- 植林、保護
- 子どものときから森林や植物とふれあう。
- 自分の推し虫を見つける。



場所は異なっても、
どこの森林も大切な場所。
皆さんで、長く続いていく
森林を作っていこう。

I am a tree man!



私たちの夢の木



私たちの夢

- ・素晴らしい景色を残していく！！
- ・森と人の共存
- ・木を加工して、最大限に生かす！！
- ・ありふれた日常を守ろう！！

実現へのアクション

- ・アスレチックや木の建物など、自然のもので人が集う場所を作る。
- ・森を守るための募金をする。

私たちのお気に入りの場所…

・北杜市白州にある、森と人の共存ができる施設“べるが”が私たちにとってのお気に入りの場所。
全国の小学生・中学生にそれぞれお気に入りの場所があると思うが、私たちにとって
は、べるがである。

べるがはいい土地なので、ぜひ来てほしい。



“べるがしか勝たん！”

多くの世代が“行ってみたい、また来たい”と思える森づくり

ビジョン

森林を生活と観光に活用し、整備、管理を実現。
多くの世代で楽しめる、行ってみたい、また来たいと思える森林づくり。

<生活のアイデア>

都会は森が足りない 田舎は森が余ってる



都会→田舎へ 人が来ればいい

人が来やすくなるために…

ログハウスやツリーハウスを作る。

Wi-Fi整備、電力供給、インフラ整備、
森林に住める環境づくりが必要。

<観光のアイデア>

【子どものいる家庭向け】

公園、ハイキング、キャンプ、
森林アスレチック、工作体験

【学校等法人向け】

資料館（森林ミュージアム）、
山菜を活用、ハイキング、
料理体験



アクション

森を守る、植林活動、PR、
魅力を伝える
日頃から森に足を運ぶ

北杜市には、森林を
活かした施設やイベ
ントがある。ぜひ遊
びに来てほしい。

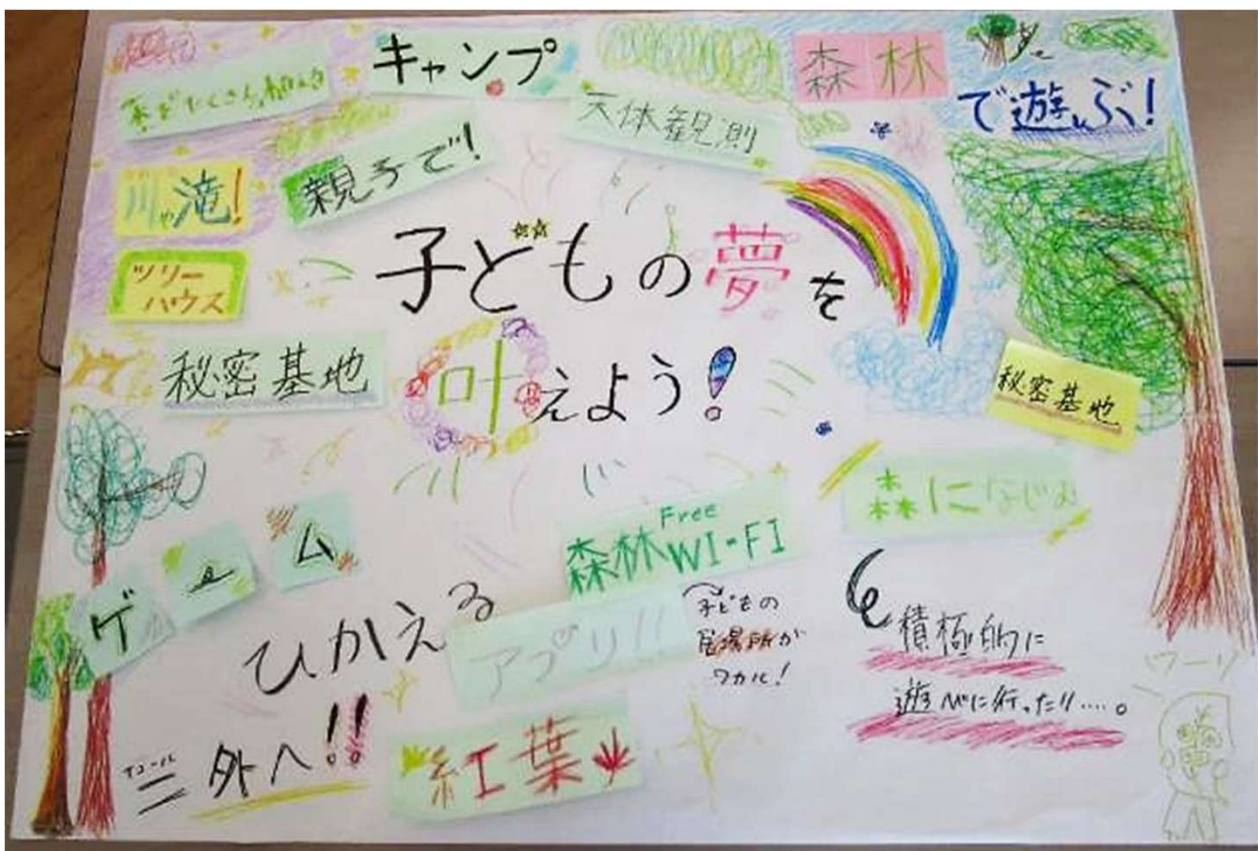
子どもの夢を叶えよう!

ビジョン

小さい頃叶えられなかった夢を叶える森を作る。
森になじみ、積極的に遊びに行きたいと思える場所。

<アイデア>

- ・ 森に秘密基地を作る
- ・ 親子でキャンプ
- ・ 天体観測
- ・ 森の遊具を整備
- ・ ゲームは控える
- ・ 森林フリーWi-Fi完備
- ・ 森で遊んでいる子どもの居場所を、親がわかるアプリを導入



積極的に森に
遊びに行って、
考えていこう。

誰もがHAPPY FOREST

ビジョン

暗くてさみしいイメージから、誰もが笑顔に、明るく楽しく過ごせる森に。

森は学校のように、小さい子から高齢者まで、いろいろなことを体験できる。

自然を大切にしながら学んでいく場にしたい。



<アイデア>

幼児：水遊び、落ち葉工作、果樹園
小学生：アスレチック、動植物とのふれあい
家族：キャンプ、星空観察
中学・高校生：サバゲー、森の勉強場所、釣り
若い人：バーベキュー、テレワーク
高齢者：遊歩道、ハンモック

アクション

- ・ 森について知る。
- ・ 誰もが気軽に、樹々を守る、環境を守る、動物を守る、自然を好きに、楽しいところ

めざせ！
HAPPY FOREST



森は友達



ビジョン

まわりにたくさんある“友達”である森を守ろう。

<アイデア>

- ・森と遊ぶ。(森林観察、野鳥観察、昆虫観察・採集、天体観測、ドッグラン)
- ・SNS断ち、あつ森を広める、筋トレ、イルミネーション、グランピング、キャンプフィーバー、バーベキュー、クライミング
- ・森を守る神降臨、お供え物をする。
- ・都会が汚くなると、森に人が逃げてくる。別荘を買わせる。
- ・木の伐採は適度に適量に。
- ・森に税金がかけられるよう、税金の無駄遣いはやめる。
- ・森を壊さず、なおかつ効率的に利用。



Let's enjoy
森ライフ!

アクション

- ・森にごみを捨てない。
- ・ごみを拾う。
- ・森に行く。
- ・森を好きになる。



静岡県立掛川西高等学校 2020年12月5日（土）

掛川市の森林は、社会・環境・経済の調和のとれた“責任ある森林管理”が重要との思いのもと、2017年にFSC認証※を取得しています。また、間伐材を有効活用して収益を生むため、間伐材を地域住民の力も借りながら運び出し、まきや丸太等を直販する「木の駅」の整備を掛川市森林組合が中心となり進めています。

※ FSC認証は、社会・環境・経済の便益にかなった責任ある森林管理から生産される木材と製品を識別し、消費者に届ける仕組みです。責任ある森林管理から生産された木製品にはFSCマークが付けられます。

参加者は、静岡県立掛川西高等学校アウトドア部の部員12名。

森林組合の管理する森林施業現場を見学した上、電動アシスト付きマウンテンバイクの試乗、まき割り、スウェディッシュトーチなど、森林空間や森林資源の活用方法を学びました。生徒たちは、普段森林に入る機会は少なかったようですが、掛川西高校の校舎には木がふんだんに使われ、掛川城天守閣、駅舎などにも県産材が活用されており、暮らしの中で森林の恵みを感じやすい環境にあります。

協力：静岡県立掛川西高等学校、掛川市森林組合、コンセプト株式会社



掛川市森林組合の施業現場見学



高性能林業機械による施業



伐倒作業の説明



高性能林業機械に試乗



植林された皆伐跡地



電動まき割り機を体験



人力によるまき割りを体験

人が足を踏み入れやすい森に



森林に入って気づいたこと

- 森からの景色がすごくきれい。
- 電波が繋がらない場所がある。
- トラックが木を運搬するときに木くずで道が汚れてしまう。



ビジョン

- 展望台を作って、景色がよいという長所をさらに良くしていきたい。
- Wi-Fi環境を整備することでより多くの人が足を踏み入れてくれると思う。
- ドローンを使って木を空中輸送することで、問題を解決する。
- 道をきれいにする。



森と生きる 森が生きる



森林に入って気づいたこと

- 木材が加工されて様々なことに利用できるという発見があった。
- 森に行くまでに疲れてしまう。
- 現状、多くの人が森に興味を持っていないこと、よく知らないことも問題の一つ。

アクション

- 電動自転車を使ったサイクリングを企画し、一般の人に森の魅力を伝えることが必要。
- 地元の小中学生や一般の人を対象にアクティビティやレジャーを企画し、宣伝していくのも一手。



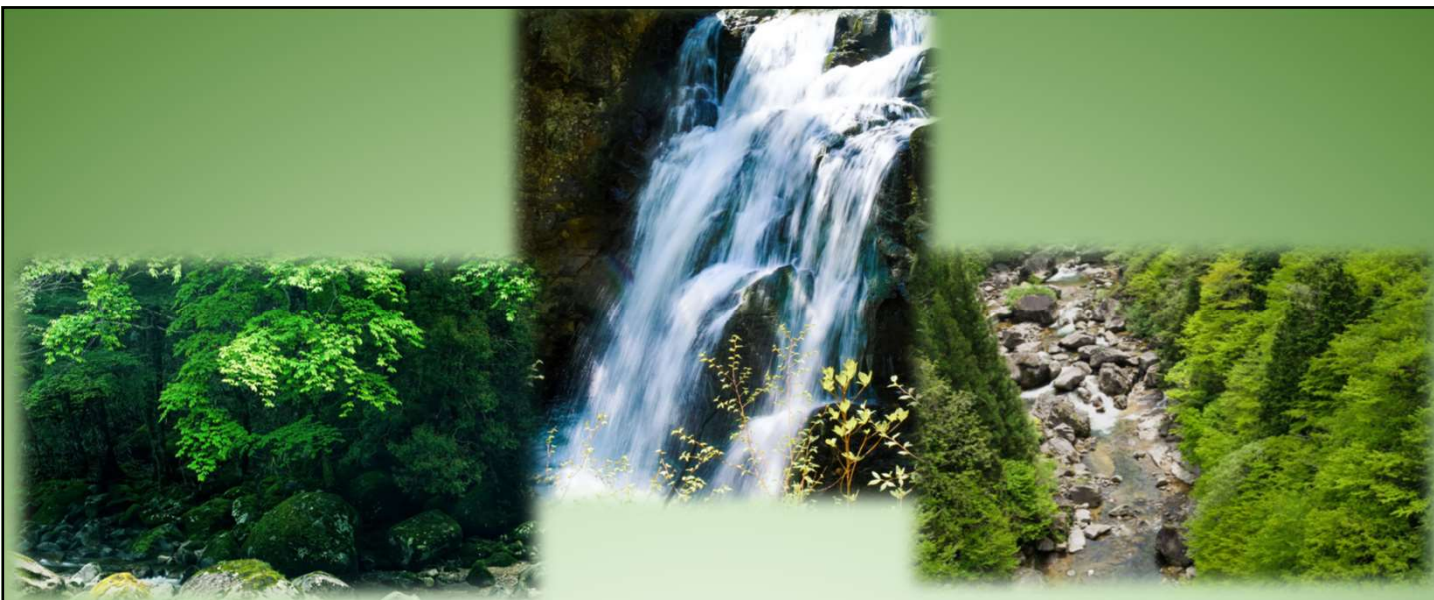
電動アシスト付きマウンテンバイク試乗



木のあたたかみがあふれる掛川市森林組合のオフィス



スウェディッシュトーチ



長野県 根羽村立義務教育学校 根羽学園

2020年12月13日（日）

根羽村は矢作川の源流域に位置し、村面積の94%がスギを中心とした森林におおわれています。根羽村の森林は、むやみな伐採を防ぎ持続可能な森林経営を行っていくために、森林認証を取得※しています。

受け入れ先となった根羽村立義務教育学校根羽学園は、1年生から9年生までが共に学んでいて、森林体験とワークショップには、小学5年生から8年生（中学2年生）まで合計14名が参加しました。内容や進め方は、7年生（中学1年生）、8年生による学生実行委員が考えて決めました。

狩猟グループは、猟友会の指導のもと、作物に被害を与えるシカを撃つ様子を見学しました。

採集グループは、森林内の樹の枝葉や木の実を集め、直径1メートルほどのリースを作りました。ほかにもツタで縄とびをするなど、思い思いに森のめぐみを楽しみました。

※ 根羽村が中心となる協議会が森林認証のうち森林管理のためのFM（Forest Management）認証を取得、その木材を適正に伐採・加工・販売する根羽村森林組合が、流通・加工の認証である、COC（Chain-of-Custody）認証を取得しています。

協力：根羽村立義務教育学校根羽学園、根羽村猟友会、根羽村教育委員会、
（一社）ねばのもり



根羽の森林で狩猟&採集



森でツタや葉、
木の実を集めて、
リースを作りました。



ツタで縄とび



狩猟体験
の様子

猟友会会長より、
命について話を
伺いました。



森に落ちていたビン
やペットボトルも並
べて飾りました。



狩猟グループ：人と動物が快適に過ごせる森

ビジョン：人と動物が快適に過ごせる森

- ① 森と人が近い。
- ② 森の中にリラックス空間。
- ③ 森と家の割合が7:3。
- ④ 動物が人に害を与えない。



実現に向けたアクション

- ・ 人が地下か木の上に住み、動物が地上に住む。
- ・ 動物が畑を荒らすので、荒らしてもよいように、動物が食べるものを植えた動物専用の畑を作る。
- ・ 動物を研究し、(動物が) 食べる木の実を植えるなど、森の中の食べ物を豊かにする。



30年後の森を
一緒に作って
行こう！

採集グループ：美しい森、生きる森、目指すはパーフェクトフォレスト!!



現在の問題

- ・ 森にごみが多い。
 - ・ 森の道が整備されていない。
- ↓
- 人が来られず、森に入れない。

理想

- ・ ごみがない。
- ・ 道が整備されて、人が森に入れる。
- ・ スギだけじゃなくて紅葉する木がある。
- ・ 動物が身近にいて触れ合える。



実現に向けたアクション

- ・ ごみを拾う。（緑の少年団）
- ・ 紅葉する木を植える。
- ・ 森の道をコンクリートで舗装する。





2050年の未来予想図 ワークショップ 成果物集

編集：令和2年度 つたえる、感じる、つながる、森林×SDGsプロジェクト事業
(令和3年3月公表) *写真や記事の無断転載はご遠慮願います。

問合せ：林野庁林政部企画課

電話番号：03-3502-8111 (内線6063) ダイヤルイン：03-3502-8036

FAX番号：03-3593-9564